



広 い 心

学校便り 16号
令和8年 1月20日
宮古島市立狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武 真史

校内持久走大会



1月16日(金)、校内持久走大会を開催しました。本校の持久走大会は「トリムマラソン方式」で、事前に申告した目標タイムと当日の実際の完走タイムとの差を競う大会です。そのため子供たちは、これまで放課後の時間を使って、自分の長く走れるペースを確かめながら一生懸命に練習を頑張ってきました。完走後の子供たちは、「ピタリ賞だ!」「自己ベストを更新だ!」「自分なりに精いっぱい走れた」などと話し、晴れやかな表情をしていました。各学年の1位を紹介します。(1年生:桜月さん)(2年生:旭希さん)(3年生:伊吹さん)(4年生:陽さん※ピタリ賞)(5年生:冠成さん※ピタリ賞)(6年生:勝成さん)

今回の持久走の取組で特に印象に残った子供たちの姿が2つありました。1つ目は、「苦しさに耐えながらベストな走りをする姿」です。息が苦しくなったり、おなかが痛くなったりすることもあったと思いますが、毎日の練習も本番も粘り強く走り切ることができました。2つ目は、「仲間を応援する姿」です。苦しさを乗り越えようと頑張っている仲間に対し、大きな声で応援する姿は、練習の時から見られました。本番では、走り終えたばかりで息も整っていない児童が仲間のために「〇〇がんばれ!、〇〇がんばれ!、もう少しもう少し」と一生懸命に応援する姿に「思いやりの心」を感じ、強く心を打たれました。

今回の持久走の取組を通して子供たちが身に付けた(高めた)であろう「粘り強い心」「思いやりの心」は、これからの子供たちにとって人生を豊かにするものになるかもしれません。



ご厚志をいただきました



1月10日(土)狩俣中学校にて、狩俣小学校・狩俣中学校に対する寄付金贈呈式がありました。寄付をしてくださった方々は、今年還暦を迎える狩俣中学校34期生同窓会(根間研二実行委員長)の先輩方です。

贈呈式では根間委員長から「同級生の仲間で母校のために寄付を募りました。今後も学校・地域を盛り上げ、子供たちの未来のために役立ててください。」というメッセージを受け取りました。狩俣を愛する先輩方のように、「狩俣を愛し誇りを胸に 社会で活躍していく」そのような人材を育成するために大切にに使わせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

※児童生徒と職員分のお菓子もいただきました。

